

私のふくし活動

塙山小学校

五年

佐藤

玲菜

私は、ふくしかわら版を配付するボランティア

活動を始め、二年目になります。始め

たきかけは、活動四年目になる私の兄の進

めでした。

最初は、あいさつぐらいしか出来なかった

けれど、今は色々な話をするようになって、

楽しいよ。

と、兄の言葉に私は、話すことがあまり得意

ではないので、少しとまどいました。人の

役に立つことをしてみたいという思いがあっ

たので、ボランティアを決意しました。

ふくしかわら版とは、塙山学区すみよいま

ちをつくる会の福祉局が、高れい者向けに作

られた楽しい情報紙の事です。今後のさまざ

まな行事や、相乗りタクシーのお知らせ、そ

して、くらしに役立つ情報がわかりやすく書

かれています。

私は、去年福祉体験の授業の時、塙山交流

センターでふくしかわら版をまく作業を完了
 いに体験してききました。配付先部数を確にん
 してからまいて、配付先が書れた用紙を付け
 る内容でした。毎月、私の手元にとどくまで
 にこのような流れになうている事を、初めて
 知ることが出来ました。そして、たくさんの
 ボランティアの人たちによつて作られている
 事や、ふくしかわら版をたくさんの人たちが
 待つている事も分かりました。
 ドキドキして、配付先のおたくへ行き、
 きました。
 と、声をかけると、
 っありがとう。ごころう様。
 と、やさしく受け取つてくれるので、私はほ
 っとします。まだまだ兄のように、たくさん
 話す機会はありませんが、これからは今より
 も交流がもてるように、そして地いきに役立
 つ活動を続けていききたいと思ひます。